

令和3年度 第5回岩村地域自治区運営協議会役員会

日 時 令和3年11月26日(金) 19時30分
場 所 岩村コミュニティセンター大会議室

1. 会長あいさつ
2. 服部市議あいさつ
3. 議事
 - ①令和4年度地域のまちづくり補助金事業について (P2～P3、別紙)
 - ・地域単独事業の選考について 6事業→5事業
 - ・地域間連携事業の申請について
 - ②(一社)恵那市観光協会岩村支部からの要望等について (P4～P8)
 - ・「岩村城跡登城口」看板の設置
 - ・「中将姫誓願桜」の植栽場所について
4. 連絡・報告事項
 - ①旧岩村振興事務所の活用について (P9～P12)
 - ②恵南地区中学校の統合について (P13～P14)
 - ③2021ふるさと創生花火について (P15～P16)
 - ④ふるさとえな応援寄附金の途中経過について (P17～P19)
 - ⑤いわむらグランドデザイン策定委員会の開催報告 (P20)
 - ⑥各部会の開催状況報告について〈訪れたいまち部会〉 (P21)
 - ⑦セントラルラリー関係報告とラリージャパン2022の開催について (P22～P23)
 - ⑧第29回全国山城サミット恵那大会の開催決定について (P24～P27)
 - ⑨嚶鳴フォーラム in 恵那2022について (P28～P29)
 - ⑩日本大正村フォトロゲイニング2021の開催報告 (P30)
 - ⑪JRさわやかウォーキングの開催について (P31)
 - ⑫WOMEN'S RALLY in 恵那2021の開催について (P32～P33)
 - ⑬恵那太陽光発電所について (P34～P35)

次回の会議 12月 日 ()

令和4年度地域のまちづくり活動補助金 申請事業の選考について(地域単独)

1. 協議事項

地域単独事業として申請された6事業に優先順位を付け上位5事業を選定

地域単独事業

地域自治区	順位	事業名	目的	活動内容	総事業費	申請金額	備考
岩村		町並みの賑わい創出・地域活性化事業	空き店舗の入居推進、商店街の賑わいの創出及び地域活性化を目指す。	・空き店舗対策 ・ひなまつりの開催	1,200,000	500,000	継続 H28～
		交流人口拡大・活性化事業	地域の活性化と、関係人口の拡大と地域住民の意識改革を図る。	・ふるさとゆかりの郷協定市町との交流 ・いわむら城下おかげまつりの開催	800,000	500,000	継続 H28～
		体験プログラム「いわむら五っこ」提供事業	岩村らしさを大切に体験プログラムの造成と提供をする。	・プログラムの提供 ・作品の展示ギャラリーの設置 ・作品の販売所・コーナーの設置	455,000	350,000	継続 H29～
		こども塾事業	こどもたちが参加、体験できる様々な文化活動や交流の機会を充実する。将来、地域で活躍できる人材を育成する。	・田んぼ体験(田植え、稲刈り) ・文化伝承(土雛作り) ・秋のふれあいウォーキング ・トラクターイルミネーション ・まちなか子ども作品展	775,000	500,000	継続 H28～
		歴史文化の伝承・保存事業	子供から大人まで幅広い層に至るまでの「人づくり」「心そだて」を活かしたまちづくりの推進を図る。	・木版に刻まれた言葉の現代語訳のデジタルデータの作成(QRコード) ・木版の交換・補修	500,000	500,000	継続 R2～
		いわむら城下町 路地カラ事業	岩村城下町を路地から活性化させる。観光客、ヨソモノの目で良いところを探す。住民自らの手で路地からのブラッシュアップ。地元もヨソモノも住みたくなるまちづくり	・手描き地図づくり ・路地カラ！参加型ホームページ構築と公開 ・路地カラWS開催	555,000	500,000	新規
	計				4,285,000	1,950,000	0

2. ヒアリング日程等について

日時等：令和4年2月1日（月）13時～14時 市役所4階第1委員会室

出席者：〈市〉鈴木誠教授、安藤克典まちづくり企画部長、熊谷春彦まちづくり企画部次長
：〈地域〉振興事務所職員、※今年度は地域自治区運営協議会からの出席可

令和4年度地域のまちづくり活動補助金 地域間連携事業について

1. 協議事項 令和4年度地域間連携事業として岩村地域と他地区の連携事業検討（上限100万円）
 <例えば山城関係>

地域間連携事業					(単位：円)	
No.	地域自治区	事業数	事業名	事業概要	事業費 (申請)	補助金 (交付決定)
①	⑩串原・山岡・明智・ 上矢作 (山岡・明智・串原・上矢 作歌舞伎保存会)	1	歌舞伎音楽後継者育成事業	同じ課題を持つ恵南地域の歌舞伎保存会 が、一緒になって義太夫、三味線などの 歌舞伎音楽を学び、技術を習得すること で、伝統文化の継承と後継者育成に努め る。	720,000	582,000
②	①大井・長島 (中山道のれんコンテスト 実行委員会)	1	「中山道のれんコンテス ト」開催による地域活性化 事業	平成21年から観光協会主催で開催する コンテスト、平成24年からは大井・長 島町が協力し開催、令和元年度(第11 回)には約300点の出店。今後は、中 山道の風物詩としての定着、近隣旧宿場 町との連携や、国際交流の推進など拡充 を図る。	980,000	680,000
③	②大井・上矢作 (大井太鼓振興会、上矢作 伝承芸能保護部会)	1	太鼓の振興・伝承・保存事 業	連携間の小中学校での太鼓授業の指導、 連携地域間のイベント参加協力(年4 回)。	645,000	525,000
④	③中野方・笠置・飯地 (坂折棚田保存会、えな笠 置山栗園、アグリアシス ト、かさぎゆず組合)	1	(新規) 援農ボランティアポイント 事業	援農ボランティアにポイントを付与し て、農地を持たない人をターゲットとし た援農の仕組みを作る。農繁期の人手 不足の解消をねらう。たまったポイントは、 「モリ券」に交換し地域経済活性化 を図る。	400,000	400,000
⑤	④中野方・笠置・飯地 (坂折棚田保存会、えな笠置山栗 園、不動滝やさいの会、まめに暮 らそまい会、飯地町特産品部会、 かさぎゆず組合)	1	ふるさとふれあい交流事業	観光イベントなど連携地域間が連携した 物品販売等を実施。坂折棚田「田の神様 灯まつり」、えな笠置山栗園「収穫祭」 の観光イベントで連携した物品販売等。	830,000	830,000
⑥	⑤中野方・笠置・飯地 (坂折棚田保存会、えな笠置山栗 園、不動滝やさいの会、まめに暮 らそまい会、飯地町特産品部会、 かさぎゆず組合)	1	(新規) ネットを活用した笠周特産 品販売の仕組み作り事業	連携地域間の特産品をネット販売する仕 組みづくり、特産品のPRをし、地域活 性と経済活性化に役立てる。	550,000	550,000
⑦	⑥飯地・笠置・中野方 (飯地歌舞伎保存会、笠置 振興協議会、中野方めれた 囃子保存会)	1	笠周伝統芸能後継者育成事 業	笠周地区の伝統芸能である歌舞伎、めれた 囃子・きねふり踊りなど地域の魅力を 発信する。 地域の魅力発信力を高め、交流人口の増 加を図り、移住定住につなげる。	1,230,000	600,000
⑧	⑧明智・岩村・山岡 (日本大正村フォトログイ ニング実行委員会)	1	(新規) 恵南地区「山城・砦」整 備・活用事業およびスポ ーツイベント事業	「山城・砦」を活用したスポーツと観光 の融合で、健康推進と観光誘客による交 流人口増加を目指す。平成29年度から 開始。	600,000	600,000
⑨	⑨明智・串原 (明智猟友会、一般AKジビ エ、串原猟友会)	1	ジビエ活用による地域活性 化事業	有害鳥獣対策と食文化としてジビエ料理 の取り組みの推進と加工施設の検討を行 う。	1,000,000	600,000
⑩	⑦岩村・山岡・明智・ 串原・上矢作 (恵南商工会、各地域まち づくり団体)	1	広域観光による地域活性化 事業	恵南地域のバラエティーに富んだ秋のイ ベントを取りまとめたチラシを作成し広 くPRする。誘客のため、スタンプラ リーを実施(年6回)。	1,200,000	1,000,000
	計	10			8,155,000	6,367,000

(一社) 恵那市観光協会岩村支部からの要望

1. 岩村城跡案内看板の設置申請主旨

現在岩村城址は三大山城と称され日本 100 名城にも選定されるほど歴史的にも貴重な史跡となっております。

そう言った中で城ブームもあり岩村城址はここ数年大変な賑わいを見せており、多くの観光客が本丸へ通じる山道を目指してしまいます。山道は一本しか無く大変狭く曲がりくねった道が 800m 続き車が 1 台通るのがやっとの道であるにもかかわらずシーズンともなれば毎年大渋滞が発生し多くの苦情を頂いております。又、崖崩れや無理なすれ違いによる崖からの転落と言う事故も十分想定され非常に危ない山道となっております。

令和 4 年度には全国山城サミット恵那大会が予定されており益々対応策を求められるところあります。今回の申請は問題を少しでも解消する為又、大駐車場も完備し歴史資料館/太鼓櫓等登城口周辺への観光客の誘導を狙ったものであり岩村城址の玄関口として定着させたいと言うものであります。



本丸へ通じる山道 (狭あい)



岩村歴史資料館前駐車場

【現状の案内看板】



裏山交差点付近



裏山交差点付近



フォー・ユー前付近

現状の案内看板は、岩村城登城客を岩村城跡登城口（岩村歴史資料館）に誘導するような看板になっていない。

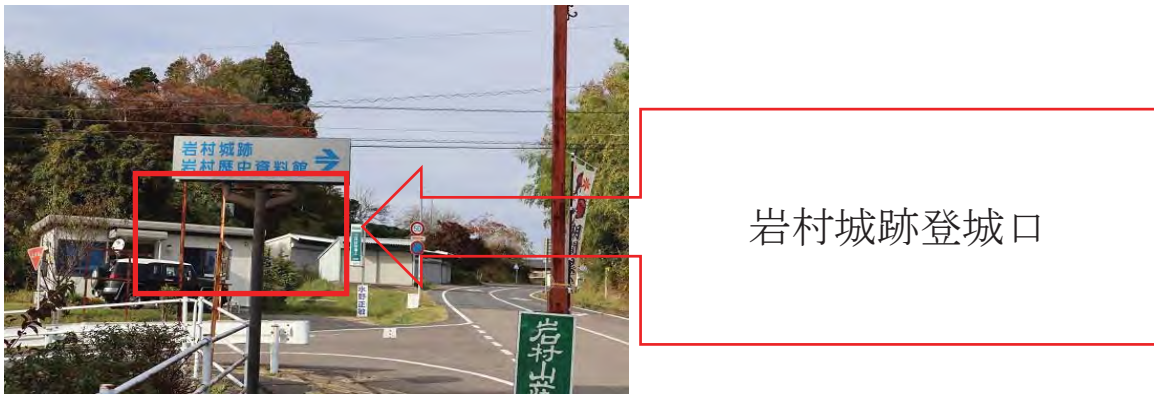
2. 要望事項【案内看板の設置】

「国道 257 号線岩村地内裏山信号機上下線」

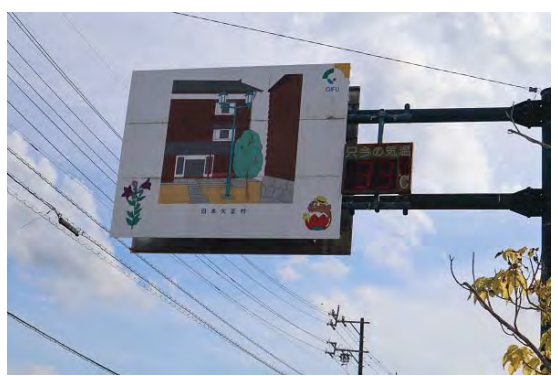
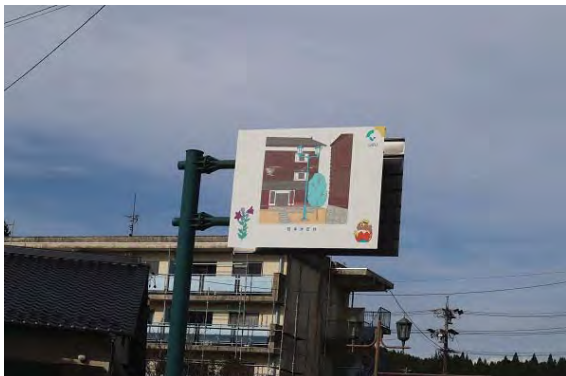
「国道 363 号線フォーユー前付近への案内看板」

岩村城跡登城口

【要望内容】



【参考 日本大正村】



中将姫誓願桜の植栽場所について



植栽予定候補地
(旧菖蒲園)



植栽予定候補地
(旧菖蒲園)

※中将姫誓願桜以外に中京学院大学短期大学部より三好學博士ゆかりの桜（土岐三好桜、稲葉ヶ丘三好桜、桜堂三好桜の3種類）の寄贈申し出があります。



女役・羽生友見さん演じる『中将姫誓願桜物語』

■岐阜バスで

新岐阜 大洞団地行 約40分 | 光輪公園下車 徒歩 約8分 | 中将姫誓願桜 (願成寺)

■自動車で

岐阜市内より 約30分

関インターより 約10分

各務原インターより 約25分



中将姫誓願桜

ちゅうじようひめ

せいがん

ざくら

国指定天然記念物

Chūjō-hime Seigan Zakura



中将姫誓願桜保存会

岐阜市大洞1-21-2 願成寺内
Tel (058) 243-2154

mail ganjouji@gmail.com
http://ganjouji.wix.com/chujouhime





桜の由来

願成寺にはこの桜にまつわるこんな伝説が伝えられています。大化改新に功績のあった藤原鎌足の曾孫に藤原豊成という人がおりました。豊成はその頃朝廷に使用していた紫の典侍という美しい官女を妻に迎えました。が、久しく子供が産まれず、そのため夫婦は長谷寺の観音に参籠して祈願をこめ、そして生まれるのが中将姫です。ところが不幸なことに、姫が五才の時、その母が亡くなったので、父豊成は橘諸房という人の娘である照日前を後妻として迎えました。姫は生来、輝くばかりの美貌と才能に恵まれ、九才の時には孝謙天皇の前に召されて、並み居る百官の前で琴を弾きました。天皇は大変感心されて、褒美として玉の簪を賜われました。姫が成長するに従い、和歌や音楽の才能はますます人々の目を見張らせるようになり、十五才の時には三位中将の位までいただきました。それ以降、世間ではこの姫のことを中将姫と呼ぶようになりました。

ところが継母の照日前は、こうした姫を次第に憎むようになり、ついには殺そうとまで思い詰めるようになりました。その頃、豊成は橘奈良麻呂が起した反乱に関与したとして、九州に流罪となっておりました。照日前は、この時とばかり、一気

に姫を殺そうと計りました。しかし、姫はその身の上に同情した一人の家来によって危うく難を逃れましたが、更に執拗に迫る追っ手から逃れるために、長谷寺や雲雀山など、あちらこちらをさまよい歩きました。

この時、姫は風の便りに、美濃の国大洞の里の願成寺の噂を耳にしました。東大寺大仏建立の折りに、いろいろ靈験があったという話で、特にその一本尊は、日頃尊信する長谷観音と同じ十二面観世音菩薩であると感じ、姫はその参詣を思い立って、はるばるこの地を訪れました。ところが、長い旅の疲れと折からの冷え込みのために婦人病にかかって苦しみ、なかなか治らないので、困り果てた姫は、この寺の観音様に救いを求め、一心に祈りました。すると不思議なことに、病気はたちまち快癒してしまいました。姫は大層喜び、境内に一本の桜を植えて、真心を込めて祈りました。そして、今度の病気で、女性には女性にしかわからない苦しみがあつたことを知り、この桜の花や葉を大切に保持することで、安産や育児など、女性の幸せを与えてくださるよう、願成寺の観音様に一心にお願いしました。

このようにして姫は、九十日もの長い間、一心に祈り続けました。長い祈りを終えると、姫は大和の当麻寺で織ったのと同じ蓮糸の曼陀羅を一幅織り上げ、それを当山に納めました。この曼陀羅はその後長く寺の宝物として大切にされてきましたが、どういふ訳があつたのか、寛正三年（一四六二）に、尾張国飛保（愛知県江南市）の円福寺に飛んでいきました。円福寺の方では、東の空から日輪が出てきたという時に曼陀羅が飛んできたというので、日輪山曼陀羅寺と称号を改めました。

大正十年、台風によりこの桜が被害に遭ったことが新聞の記事に載ったところ、郷土の偉人、縄昆虫博士の目に留まり、これ

がきっかけとなり、翌年に奈良で開催された全国桜の会に出品されたところ、珍種であることがわかりました。さらに、同じく岐阜県の偉人で、さくら博士として知られる三好学博士に調査を依頼した結果、学術的にも新種であることがわかり、新しく *Kyunusu Floridula miyos* という学名で全国的に発表されました。そして昭和四年四月には、文部省から天然記念物の指定をうけました。その標柱「甲将姫誓願桜」の文字は、当時の文部大臣で後に総理大臣になった鳩山一郎氏の筆になるものです。

桜の種が宇宙へ直系2世誕生

この桜は、これまで種から発芽するのは確認できませんでした。ところが、平成二十年、

花伝説、宙へプロジェクトに参加し、この桜の種を宇宙ステーションの日本実験棟「きぼう」に打ち上げ、八か月間保管したところ、平成二十二年春に二粒が発芽しました。その後、目を見張るほどの速さで成長し、四年後の平成二十六年春には二本ともに初開花しました。この開花のニュースは、AFP通信を通じて世界中に配信され、大きな話題となりました。現在、二本ともに、親桜と同じ願成寺の境内において順調に成長しております。



平成26年春に初開花した宇宙選りの直系2世

入口サイン

学のまち生涯学習センター



総合案内

フリースペース
(展示スペース)



フリースペース^{1F} 東
(展示スペース)

111





資料閲覧室
・事務所

三学のまち研修
室